

2017年8月
第1号

華 たより



寄り添う介護 思いやをカタチに
共に地域で生きて行くために

〒503-0303
岐阜県海津市平田町野寺1092-1
TEL : 0584-60-0017
<http://www.keibonokai.org/>



お一人お一人に寄り添い、 地域に貢献することを目指して

恵母の会は、平成23年に岐阜県海津市で社会福祉法人として設立されました。

現在では地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅介護かいさいの華、地域密着型特別養護老人ホーム・短期入所施設たかすの華の二施設を運営しております。

かいさいの華、たかすの華、共に田園地帯の真ん中に位置しています。稻作が盛んなこの海津市で生まれ育つた方が、ご自宅と同じよう

な環境で、安心して過ごすことができるよう、「寄り添う介護、思いやをカタチに。」という法人グループの志の元に、お一人お一人を大切にした介護サービスをご提供いたします。

当法人の施設には、個室と多床室があります。プライバシー保護が重視されるのになぜ、というお声もいただきますが、恵母の会では、「向こう三軒両隣」の深いご近所づきあいの文化が色濃く残る海津市の地域性からもより多くの皆様に受け入れていただけると確信し、あえて多床室をお作りいたしました。

また、地域密着型特養という特色を生かし、地域の方との交流、連携をもつと深めていきたいと考えております。具体的には、小学校、中学校、特別支援学校からの研修生の受け入れ。特別支援学校からは職員として就業された方もいます。

特にかいさいの華は小学校の隣に位置し、学校行事のたびに利用者様にお声かけをいただいており、利用姿を目にし、心を和ませておられる

ようです。
更に、民生委員さん、区長さんと一緒に打ち合わせを行い、地域の定期的に打ち合わせを行い、地域の介護にお困りの方を事前に察知し、少しでもお力になれるように備えています。

在宅介護をされている方がお困りの際にも受け入れられる体制を整えておりますので、いつでもご相談ください。隣でお力になれる施設を目指して、これからも地域の福祉拠点として尽力してまいります。

社会福祉法人恵母の会

理事長 宇野 隆夫

ホームページができました



<http://www.keibonokai.org/>

Facebookでも情報発信中!
“社会福祉法人恵母の会”



老人福祉施設かいさいの華・たかすの華をささえる会

ごあいさつ

社会福祉法人恵母の会は、海津市の高齢福祉政策の一翼を担うべく福祉施設を運営しております。ささえる会は、地域と恵母の会との架け橋となり、みなさまのご意見、ご要望に耳を傾けていく所存です。「かいさいの華」「たかすの華」が市民のみなさまとつながりの深い施設となることを切願しております。

今後ともみなさまのご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

会長 西脇 幸雄



ささえる会の役目

- 入所検討委員会への参加
- 運営推進会議等への参加
- 福祉避難所運営協議会への参加
- 重大事故等の第三者委員会への参加
- 業者選考委員会などへの参加
- 催事への参加

会員募集

地域社会の発展のためボランティア活動にご興味のある方を募集しています。
社会福祉法人恵母の会を応援する仲間になってください。

福祉活動、「かいさいの華まつり」「たかすの華まつり」などのイベントを通して、利用者様に住みよい生活を送っていただく手助けをする活動を目的としています

お問い合わせ先

老人福祉施設かいさいの華・たかすの華をささえる会

〒503-0303 岐阜県海津市平田町野寺1092-1法人本部内 TEL 0584-60-0017



社会福祉法人恵母の会より 寄付のお願い

地域のみなさまからの寄付金・寄付物品などの寄付募集をしています。お預かりしました寄付はみなさまの気持ちを大事に大切に使用させていただきます。



社会福祉法人 恵母の会

役員紹介

評議員	西脇 幸雄 安立 正春 小川 晃 神野 明 黒田 隆 小見山 重政 森 喜孝	理事長 宇野 隆夫 理事 大野 つや子 大橋 景子 佐野 祐次 長澤 和宏 深水 富美笑 河田 孝広 吉原 りえ	監事
-----	--	---	----

「住み慣れた地域で、見慣れた景色の中、なじみのある人たちに囲まれながら、いつまでも安心して暮らしていきたい」という思いに寄り添う介護を目指しています。

住み慣れた地域で
安心した老後を

法人沿革

平成23年12月16日 社会福祉法人恵母の会 設立
平成24年10月1日 地域密着型特別養護老人ホーム「かいさいの華」・
小規模多機能型居宅介護「かいさいの華」開所
平成28年3月28日 地域密着型特別養護老人ホーム「たかすの華」・
短期入所施設「たかすの華」開所



かいさいの華 〒503-0303 岐阜県海津市平田町野寺1092-1
TEL:0584-60-0017 FAX:0584-60-0027

- 地域密着型特別養護老人ホーム「かいさいの華」
定員29名(個室5室 4人部屋6室)
- 小規模多機能型居宅介護「かいさいの華」
対象利用者 海津市在住者 29人登録制(デイサービス定員18人 宿泊定員9人)



たかすの華 〒503-0651 岐阜県海津市海津町平原318-2
TEL:0584-52-0086 FAX:0584-52-0087

- 地域密着型特別養護老人ホーム「たかすの華」
定員29名(個室1室 4人部屋7室)
- 短期入所施設「たかすの華」
定員17名(個室1室 4人部屋4室)

平成28年度 事業報告

平成28年度の事業活動結果を下記のとおり
ご報告申し上げます。

貸借対照表

平成28年3月31日現在	
資産の部	負債の部
流動資産 81,071,071	流動負債 36,074,682
固定資産 688,418,446	固定負債 376,972,444
	負債の部合計 413,047,126
	純資産の部
基本金 63,584,960	
国庫補助金等特別積立金 261,264,549	
次期繰越活動増減差額 31,592,882	
(うち当期活動増減差額) -773,998	
	純資産の部合計 356,442,391
資産の部合計 769,489,517	負債及び純資産の部合計 769,489,517

事業活動計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日 (単位:円)	
サービス活動増減の部	収益 281,350,999
	費用 288,299,603
	増減差額 -6,948,604
サービス活動外増減の部	収益 771
	費用 2,791,297
	増減差額 -2,790,526
経常増減の部	収益 -9,739,130
	費用 8,965,030
	増減差額 -102
特別増減の部	収益 8,965,132
	費用 0
	増減差額 8,965,132
当期活動増減差額	増減差額 -773,998
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 32,366,880
	当期末繰越活動増減差額 31,592,882
	基本金取崩額 0
その他の積立金積立額 0	
その他の積立金積立額 0	
次期繰越活動増減差額	31,592,882

かいさいの華だより

平成29年
1月～6月

1月 初釜

お茶の先生がお越しくださいました。みなさん、お抹茶とおまんじゅうをおいしそうに召し上がられました。

2月 節分

海西小ふれあい訪問
鬼は外！福は内！
海西小学校の皆が育てた花の苗と手紙を届けてくれました。「また来てね」と握手を交わしました。

3月 ひなまつり

お内裏様とお雛様に変身。昼食はちらし寿司を召し上がり、一足早い春を楽しめました。

海西小折り紙クラブ訪問
折り紙と花をプレゼント。

4月 チューリップ見物

毎年施設内の花壇には色とりどりのチューリップやパンジーが咲き乱れます。晴れた日には花を見ながら心和むひとときをすごされました。

あんずの会訪問
(ボランティア)

5月 藤見物

海津白山公園にて。
美しい歌声にうっとり。

ごぼさん合唱団訪問
(ボランティア)

6月 つるりんマジックショー

(ボランティア)
瓶にコインがチャリン!
千円札が一万円札に!?
華麗な技が次々と飛び出しました。

第4回 かいさいの華まつり

～日頃の感謝の気持ちを込めて～ **5/20 土**

今年で4回目となる『かいさいの華まつり』。晴天の下、地域のみなさま、利用者様とそのご家族など約250名が訪れ、たいへん賑わいました。

地元海津市平田町で活動する平田千代保太鼓保存会による力強い和太鼓の演奏でスタート! 小学生から大人まで幅広い年齢層のメンバーで構成される同保存会。祭りを盛り上げるにふさわしい迫力ある音を響かせてくださいました。

この日の岐阜県美濃地方は最高気温32度を記録する真夏日。チケット売り場には長蛇の列ができ、屋台のかき氷とジュースが飛ぶように売れていました。また、昨年大人気だった千本引きは、今年も大盛況でした。

館内では、人形劇サークルおちょぼっこが『はらぺこあおむし』の人形劇を公演し、子どもも大人も真剣な表情で見入っていました。

当日は、海津明誠高校の生徒さんもボランティアとして販売などを手伝ってくれました。この他にも、日頃から多くのボランティアの方々、地域のみなさまに支えられて運営しています。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

かいさいボラくる

恵母の会を支えてくださるボランティアのみなさんを紹介する『ボラくる』。今回は、かいさいの華まつりにもご協力いただいた2団体をご紹介します。

手作りおやつ誕生日会

毎月、担当スタッフがおやつメニューを考えています。みなさまと一緒に作っておやつを食べながらその月の誕生日をお祝いします。

メニュー
1月 どら焼き
2月 白玉ぜんざい
3月 蒸しパン
4月 おはぎ
5月 たこ焼き
6月 水ようかん

どら焼き
きなことあんこのおはぎ
白玉だんごを作ります
蒸しパンの生地を混ぜます
今日はたこ焼き!
水ようかん

たかすの華だより

平成29年
1月
～
6月

4月

チューリップ見物

木曽三川公園へ。お天気も良好。満開の花を前に満面の笑みがこぼれました。

桜見物

満開の桜。ゆったりとした時間を過ごしました。

わかば会訪問 (ボランティア)

たかすの華初登場! マジックショーとどじょうすくいを披露していただきました。笑いの耐えないステージとなりました。

壁面飾り

1月

つるし飾り作り

バランスを取るのが難しいのですが、がんばりました。

つり遊び

おもちゃのお札をつり上げます。合計額を競い盛り上がりました。

初釜

お茶の先生にお越しいただきました。先生に、初釜とは何かお話をいただき、作法についてもご指南いただきました。この日は職員が着物を着てお運びさんに。「ひさしぶり♪」「作法わからんけどええかね」などの声が飛び和気藹々とした雰囲気のなか、かわいらしい兎のお菓子とお抹茶をいただき、至福のひと時でした。

5月

すみれ会訪問 (ボランティア)

歌謡ショー。歌声にうつとり。

手作りおやつ

藤見物

藤棚作り

2月

貝殻かるた

テーブルの片方は文字が、もう片方には絵が描かれた貝殻かるた。「くだもの」と「バナナ(絵)」のように合わせます。頭を使う遊びも盛り上ぎります。

節分

職員扮する鬼登場!

**鬼は外!
福は内!**

ポール遊び

6月

**手作りおやつ
誕生日会**

毎月、みんなでおやつを手作り、その月の誕生日をお祝いしています。6月のおやつはわらび餅でした。蒸し暑い季節にぴったり。

サックス演奏 (ボランティア)

サックス奏者の加藤さんが、誰もが口ずさむことのできる懐かしい唱歌を演奏してくださいました。

**たかす
ホラ
くる**

サックス奏者
加藤邦英さん

介護の仕事をしながら活動をしています。空き時間に他施設へも演奏を行っています。

3月

わかば海津北こども園の園児との交流

お焼さ作り

年に2回、わかば海津北こども園の園児が遊びに来てくれます。この日は年長・年中の園児たちがダンスを披露してくれました。利用者様の中には、ひ孫ほどの園児の演技に涙を流して喜ぶ姿も。最後に全員と握手。子どもたちに元気をいただきました。

ひな祭り

地元の方から譲り受けた雛飾りをみんなで一緒に飾り付けました。ひな祭り当日は、歌をうたい、ケーキでお祝いしました。

予告 11月開催予定! **たかすの華まつり**

7

6

開催
しました

かいさいの華で『介護チャレンジスクール』

13名が“わたしにもできるやさしいカイゴ”を学びました

2017年7月17日（月・祝）



かいさいの華で小中学生を対象に今回で3回目となる『介護チャレンジスクール』をおこないました。参加者は、不二羽島文化センターなど各出発地からバスで到着。約1時間かけて施設を見学したり、高齢者のみなさんとふれあいました。

今回のテーマは『わたしにもできるやさしいカイゴ』。

自分にできることを考えるために、まずは“知ること”。家族や近所のお年寄りをイメージしたり、自分の家とは何が違うかに注目しながら介護施設を見学。トイレの手すりの設置箇所は右と左それぞれのタイプがあることなどを確認しました。また、高齢者のみなさんと話をして感じたことなどを話し合いました。アイマスクをつけたり、耳に綿球を詰めて、「目が見づらくなる」「耳が聞こえにくくなる」高齢者疑似体験もおこないました。さらにその状態のまま参加者同士で食事介助の体験も。「物が食べにくくなる」とはどういうことを体感しました。不二羽島文化センターに移動後は、脚や腹、背の筋力低下を想定して「立ち上がりにくさ」の体験。高齢者を介助する際のコツも学びました。

はじめての体験に一步成長した参加者たち。あなたにできるやさしさ、みつかりましたか。最後におこなわれた修了証書授与式では子どもたちの誇らしげな姿が印象的でした。

次回は2018年2月に開催予定です。みなさんのご参加をお待ちしています。



同日開催 パパママのための家庭教育講座 「ハッピーのカギは『ルーティン』～習慣が自己肯定感を上げる～」



同日、不二羽島文化センターでNPO法人For smile主催の家庭教育講座が開催されました。講師の岐阜大学地域科学部教授の近藤真庸氏が、“生活習慣は自分への信頼感を高め、復習に特化した学習法が「やればできる！」という自信を作り出す”という『近藤メソッド』に基づいて、自己肯定感を上げる秘訣について講演しました。

近藤氏はまず歌を披露。会場のみなさんと一緒に歌い、和やかな雰囲気で講演が始まりました。夏休みを前にまずは起床・就寝時間を決めるなど生活時間割を作ることを提案され、「学習したことはその場でアウトプットすると効果的。寝る前にもう一度復習を。」と、学力がアップする学習法も聞くことができました。

参加者は約100名。みなさん終始深くうなずきながら熱心に話に聞き入り、質問も多く出ました。フリーアナウンサーの宇野悦加氏を交えたパネルディスカッションでは更に詳しい話をうかがうことができ、濃厚な1時間半となりました。

中学生のお子さんとの会話が減っているという方は、わが子との接し方についてヒントを得られたようで「聞いてよかったです」と感想を話されました。また、小学生と園児のお子さんをお持ちのお父さんは「子どもと目線を合わせることが大切だと感じた」と話されていました。